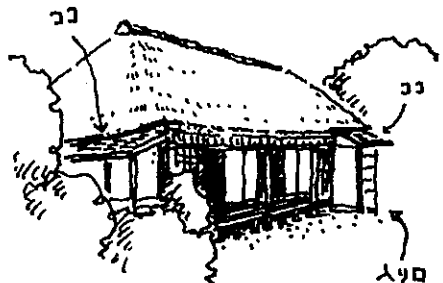




第3話 十能瓦のお話

JŪ NŌ 十能瓦 について. KAWARA

1400年以上前に日本に伝来した瓦。
ほんの30年ほど前までは 全国ほとんどの
市町村で火災が起っていたようです。
館林も含まれる 東毛地域では
半世紀ほど前に「十能瓦」(小泉瓦)
が生まれました。今はもう作られては
いませんが、この瓦でふかされた屋根は
まだポツポツと残っています。



田山花袋の家

▶裏面へつづく

ど、この「十能」が何かというと
火種をこの上にのせて火盆などに
運んだ金属製の道具なのだそうぞ。



十能瓦は
形がこれに
似ています。

・*ちねみに…
何にもしないぞ
日(火)をおくろむのつとを
「あの人は十能だ」と
いうぞぞ。

十能瓦はうすくてもろいのですが、
軽くて素人でもふけるカンタンなつくりが
うけて広まったようです。地域の
特色として残したいものの一つだと
思います…!

次回は、お稲荷様のたたりのお話。おたのしみじ。